

(流域の市区町村より寄せられた意見)

10. 千葉県

利根川水系河川整備計画 地方公共団体の長からの意見聴取【千葉県】

通番	都・県	市区町村	意見及び質問	回答
1	千葉県	1銚子市	1. 最近の大雨による洪水により、沿岸の家屋への浸水、道路の冠水が頻繁に起こるようになり、沿岸住民の不安が募っている。早急に堤防、護岸の改良と無堤防箇所の整備をお願いします。	河川整備計画の目標流量を安全に流下させることができない区間においては、河道の流下能力向上対策として、河道掘削、築堤及び堤防の嵩上げ・拡築等を順次実施します。特に、利根川の河口部にある導流堤の撤去を検討しており、より大きな流下能力の向上に寄与するものと考えています。 利根川河口堰下流の無堤部については河川整備計画の中で浸水被害等を考慮しながら、順次整備を進めることとしています。利根川の河口部にある導流堤の撤去を検討しており、洪水時の水位低下と合わせて浸水被害の低減を図ります。
2	千葉県	1銚子市	2. 人と川がふれあえる水辺環境の整備をお願いします。	生活の基盤や歴史、文化、風土を形成してきた利根川の恵みを活かしつつ、自然とのふれあい、釣りやスポーツなどの河川利用、環境学習の場などの整備、保全を図ります。 また、高齢者をはじめとして誰もが安心して親しめるようユニバーサルデザインに配慮するとともに、沿川の自治体が立案する地域計画などとの連携・調整を図り、河川利用に関する多様なニーズを十分反映した河川整備を推進します。
3	千葉県	1銚子市	3. 災害時の対策として、近隣都県、都市との相互救援のための川の道として活用できるように整備をお願いします。	災害時の広域的な物資輸送、堤防若しくは護岸などの河川管理施設の復旧活動に必要な資材輸送を目的として航路整備及び緊急船着場を整備しています。 また、災害時の活用を考慮した舟運の整備(ハード)に取り組む関係自治体や地域住民と連携するとともに、川を利用した地域のつながりを再構築し活性化を図るため、利根川と周辺湖沼、水路などを結ぶ水上ネットワークの構築や関連する拠点のあり方(ソフト)についても検討します。
4	千葉県	1銚子市	4. 洪水時、ゴミ、草木等が上流から大量に流れてくるため、漁船の出入港ができない等の深刻な影響がでている。ゴミの清掃等、環境保全について、より一層のPRをお願いします。	利根川及び江戸川の広大な河川敷は、ゴミなどの不法投棄の対象となりやすく、慢性化している上、行為者・所有者が判明しないものがほとんどのため、河川管理者が撤去せざるを得ない状況にあります。このため、現在、不法投棄の著しい区間は巡視の強化や注意看板の設置などを行っています。 また、河川に投棄されるゴミなどを減らすため、地域住民などの参加による河川の美化・清掃活動などを自治体と連携し、河川美化の意識向上と継続的な活動の実施を図ります。
5	千葉県	2市川市	1. 河川整備計画の策定に際しては、沿川市街地や周辺環境を十分に配慮していただきたい。	河川整備計画の策定に際しては、沿川市街地や周辺環境に十分に配慮できるよう、沿川市区町の地域計画を踏まえ、皆様から十分な意見を頂きながら進めていきます。
6	千葉県	2市川市	2. 計画策定後については、社会情勢の変化に応じて柔軟な対応をお願いしたい。	河川整備計画は、現在の社会経済情勢、自然環境及び河道状況に基づき作成するものであり、これらの状況の変化や新たな知見及び技術の進歩などにより、必要に応じて適宜見直しを行います。
7	千葉県	2市川市	3. 高水敷の管理上または利用者の安全性を図り、高水敷の侵食にも対応した低水敷護岸の改修時には、自然環境に配慮した護岸となるような整備をお願いしたい。	低水護岸の改修時には、治水上の必要な機能を確保した上で、地域の暮らしや歴史・文化との調和を図るとともに、河川が本来有している多様な動植物の生息・生育・繁殖環境に配慮した多自然川づくりを積極的に推進していきます。 また、災害復旧時においても、画一的な構造とはせずに自然環境に配慮した多自然川づくりを基本とした整備を行います。

利根川水系河川整備計画 地方公共団体の長からの意見聴取【千葉県】

通番	都・県	市区町村	意見及び質問	回答
8	千葉県	2市川市	4. 都市型水害への対応として、内水排除も配慮した河川整備計画となるようお願いしたい。	地球温暖化の影響と考えられている大雨発生数の増加により、近年、都市型水害が増加しています。 被害を極力軽減するための対策として、水門などのハード整備と合わせて、河川の情報伝達やハザードマップの策定支援などのソフト対策も重要です。 今後、これらのハード対策とソフト対策と合わせて、関係自治体の連携を図りつつ利根川水系河川整備計画(たたき台)に反映するよう検討します。
9	千葉県	3松戸市	1 赤坎樋門の改築について 赤坎樋門(流下能力38m ³ /s)は松戸市の中心市街地に位置し、昭和5年(77年前)に建設された本市内水対策の要の施設であります。 本市は昭和18年に人口4万人で市政施行し、現在では47万4千人に発展し赤坎樋門が建設された当時とは、土地利用状況も大きく変貌を遂げました。 また、平成15年・平成16年には台風などにより浸水被害が生じ市民生活に甚大な影響を及ぼしました。 そこで、「水害に強い安全なまち」を目指す本市といたしましては、利根川水系河川整備計画に赤坎樋門改築(流下能力190m ³ /s)を位置づけていただき、早期に着工されますよう、要望いたします。	赤坎樋門については、建設当時と比較して周辺の市街化など、土地利用状況が大きく変わり、人口・資産の集積によって出水に対する被害が甚大となることが懸念されており、近年の出水においても浸水被害が生じていることは認識をしているところであります。 利根川水系河川整備計画(たたき台)に当該樋管の改築を反映するよう検討を行っていますが、事業の実施にあたっては支川の河川改修との十分な調整が必要なため、千葉県、松戸市のご協力を頂きながら、連絡・調整を行ってまいります。
10	千葉県	3松戸市	2 江戸川左岸堤防強化対策について 松戸市は、江戸川左岸の中流部に位置し、江戸川に9.8km接しております。また、水害から市民の生命と暮らしを守るため「水害に強い安全なまち」を目指し市内河川の治水対策に努めてまいりました。そして、洪水の大部分(90%)が流下する江戸川は本市の治水対策において、かけがえのない存在であります。 近年、地球規模の異常気象による集中豪雨が多発するなど局地的な豪雨は、いつ、どこで起こるかわかりません。 そこで、洪水に強い江戸川にするため現在実施されている右岸堤防強化に併せて左岸堤防の強化をすることが要諦と考えます。 つきましては、利根川水系河川整備計画に「左岸堤防の強化対策」を位置づけていただき、早期に着手されますよう、要望いたします。	江戸川は、人口・資産の集積する首都圏を流れる重要な河川であり、堤防強化を含めた治水対策は非常に重要となっていることから、必要な対策について計画的に実施してまいります。実施にあたっては、江戸川堤防詳細点検結果、堤防背後地状況、堤防整備状況、上下流及び左右岸バランスなどに配慮し、計画的かつ効率的に推進してまいります。 左岸堤防の強化対策については、利根川水系河川整備計画(たたき台)に反映するよう検討します。
11	千葉県	3松戸市	3 緊急用河川敷道路の整備について 松戸市小山地先に、松戸緊急用船着場が平成13年5月に完成し、その後、課題であった矢切の渡し周辺の浚渫が行われ、平成17年度には東京湾から松戸までの航路が確保されました。 松戸市は、災害発生時にも市民の安全が確保され、早期に都市機能が復旧できるよう「災害に強いまちづくり」を進めています。 つきましては、この船着場を拠点に防災活動をスムーズに展開するため、利根川水系河川整備計画に江戸川左岸高水敷にも「緊急用河川敷道路の整備」を位置づけていただきたく、要望いたします。	江戸川の緊急用河川敷道路は、右岸については江戸川河口より金野井大橋(国道16号)まで、左岸については江戸川河口より流山橋(県道29号)までの整備が計画されているところです。 そのうち右岸の江戸川水閘門より流山橋(県道29号)までの区間については緊急整備区間となっていることから、現在整備を進めているところですが、今後は残りの区間も含め、全体の緊急用河川敷道路の整備を利根川水系河川整備計画(たたき台)に反映するよう検討します。

利根川水系河川整備計画 地方公共団体の長からの意見聴取【千葉県】

通番	都・県	市区町村	意見及び質問	回答
12	千葉県	3松戸市	<p>4 川のレクリエーション交流拠点について</p> <p>松戸市総合計画では、斜面林・河川・農地など松戸を特徴づける自然景観のある江戸川に隣接する矢切地区に、既存の豊かな水とみどりの広がりを生かした「川のレクリエーション交流拠点」の整備を位置づけています。</p> <p>現在この構想を具現化するため市の内部に「矢切耕地整備構想検討委員会」を設置し土地利用の基本構想や基盤施設の整備方針について検討に着手しました。</p> <p>つきましては、この矢切地区でスーパー堤防等の具体的な整備計画を立案する際には、本市と緊密な連携のもと進めていただきたく、要望いたします。</p>	<p>高規格堤防整備は、沿川自治体のまちづくり等の面的整備と連携して実施していく事業であることから、全体目標、計画内容などを具体的に記述することは困難ですが、超過洪水対策のために沿川自治体などと連携・調整して積極的に取り組んでいきます。</p> <p>矢切地区でスーパー堤防などの具体的な整備計画を立案する際には、松戸市と緊密な連携のもと進めていきます。</p>
13	千葉県	3松戸市	<p>5 江戸川舟運の推進の支援について</p> <p>松戸市では総合計画に「江戸川舟運の推進」を位置づけ、平成11年から、国土交通省の支援を受けながら、下流部の自治体と共同で舟運の復活に向けた取り組みを進めて参りました。しかし、観光を主眼とした事業は、民間船舶事業者の参入が不可欠であり、現在中断しております。</p> <p>舟運事業を進めるにあたっては、江戸川を交通路として活用するため、河川計画と連動した沿川土地利用の設定などが必要と考えます。また、現在江戸川は、災害時の緊急用輸送路として位置づけられていますが、舟運の需要が損なわれた今、20年～30年の期間でその需要を誘導・喚起する仕組みづくりが必要不可欠です。</p> <p>そこで本市では江戸川舟運の復活について再構築し、江戸川・利根川を軸にした広域連携・交流を進めるとともに、環境学習・体験学習についても取り組む所存でありますので利根川水系河川整備計画において、長期的な舟運復活の支援プログラムを位置づけていただきたく、要望いたします。</p>	<p>江戸川は、かつて、北関東一円及び東北地方から銚子を経て関宿を經由し、江戸に至る舟運路として重要な役割を果たしてきましたが、鉄道や道路交通の普及に併せて、舟運は衰退していきました。</p> <p>こうした中で国土交通省では震災対策として、陸上交通が途絶した際の代替輸送機関として舟運に着目し、江戸川においても緊急用船着場やその航路確保などの整備を進めており、近年、沿川の関係自治体においても舟運復活への気運が高まっていることから、今後も、地域の歴史文化や河岸周辺の利用、環境を考慮しながら水面利用の推進に取り組んでいきます。</p> <p>また、舟運復活の支援については、地域の計画及び地域のニーズを踏まえ、利根川水系河川整備計画(たたき台)に反映するよう関係自治体と連携し検討します。</p>
14	千葉県	3松戸市	<p>6 江戸川の自然環境の保全・再生について</p> <p>江戸川は、近年、散策やスポーツなど憩いや潤いを求める市民に広く利用されるようになってまいりました。</p> <p>しかしながら、江戸川の水面を身近に感じる場所が少ないため、本来あるべき川の魅力が充分発揮されていないのが現状であります。水が溜まり、流れないワンドのような場所や、干潮時に広い砂洲が出来る緩やかな岸边などがあれば、水遊びやボート遊び、生き物観察(調査)も可能になり川の楽しさ、怖さを大自然・江戸川で体験できるようになります。</p> <p>そこで、「人と自然が共生するまちづくり」を目指す本市としては、このような水辺が創出されれば環境学習や体験学習に活用して、江戸川と一体となって育んできた郷土の風土・歴史を体感する場として位置づけたいと考えています。</p> <p>つきましては、利根川水系河川整備計画に、ワンドなどの多様な水辺、水際の創出とそのネットワーク化を位置づけていただきたく、早期に整備されることを要望いたします。</p>	<p>江戸川は、現在、直立した河岸の形状となっていることから、水面を身近に感じる場が限られています。そのため、水質改善を図り生態系の保全創出を目的とした「ふれあい松戸川」など、水面を身近に感じる場所の整備を進めています。</p> <p>治水事業における掘削などの整備を行う場合には、地域の暮らしや歴史・文化との調和を図り、河川が本来有している生物の生息・生育・繁殖環境を創出し、河川の多様な自然環境に配慮した「多自然川づくり」を積極的に推進し、子どもたちの河川利用の促進、体験活動の充実を図り、水際の整備が必要な場合は、「水辺の楽校プロジェクト」により、関係自治体と連携し整備ができるよう利根川水系河川整備計画(たたき台)に反映するよう検討します。</p> <p>また、河口から上流までの生物の生息・生育・繁殖環境の連続性や周辺的环境と川の連続性を確保するネットワーク化を推進します。</p>

利根川水系河川整備計画 地方公共団体の長からの意見聴取【千葉県】

通番	都・県	市区町村	意見及び質問	回答
15	千葉県	3松戸市	<p>7 坂川放水路・直轄坂川への水辺の楽校等環境整備について</p> <p>松戸市では、現在、「緑花清流によるまちづくり」を目指しており、清流ルネッサンスの推進により、坂川河川網の水質は大きく改善され、水辺を散策する方も多く見受けられるようになってまいりました。</p> <p>また、地域と連携し、子供達が川を通じた環境学習ができるような様々な取り組みも実践しております。</p> <p>しかしながら、直轄坂川沿川では川に触れ合い学習出来る場としての整備がなされていないのが現状であります。</p> <p>このような中、現在、清流ルネッサンス に於いて直轄坂川に「水辺の楽校」が位置づけられており、整備後は地域に根ざした環境学習の拠点として地域ぐるみで活用させて頂き、川がもっと身近なものになればと大変期待をさせて頂いております。</p> <p>つきましては、利根川水系河川整備計画に水辺の楽校・大金平大橋付近の拠点整備、さらにこれらを有機的に連続させる遊歩道の確保を位置づけていただき、早期に着手されますよう、要望いたします。</p>	<p>大金平大橋付近などの拠点整備及び有機的に機能する緑のネットワークづくりについては、「利根川水系江戸川中流部及び坂川水環境改善緊急行動計画」に位置づけられており、現在、沿川の関係自治体や地域住民などとともに、水質改善と合わせて取り組みを行っています。</p> <p>利根川水系河川整備計画(たたき台)に反映するよう人と川とのふれあいに関する整備として引き続き推進できるよう関係自治体や地域住民などと連携しながら検討します。</p>
16	千葉県	3松戸市	<p>8 神明堀への失われた水量の復活による生態系を考慮した水辺空間の保全と水量・水質改善について</p> <p>準用河川神明堀は、流山市域から流下し松戸市域を通り坂川放水路へ流れています。更に下流の神明堀(旭町地区)は坂川放水路の建設で分断に至った為、已む無く流れが無くなり、現在は新松戸処理場からの処理水のみで維持水量が不足しております。また、近い将来この処理水も流域下水道に接続されることで、水無し川になる運命であります。</p> <p>そこで、「人と自然が共生するまちづくり」を目指す、本市といたしましては、神明堀下流部への失われた水量の復活が実現されれば、神明堀の保全と六間川、横六間川の水量・水質の改善が進むこととなります。さらにこの水を活用し、当該地域の既存水路に水辺を復活させ、生態系を考慮した水辺空間の保全が可能となります。</p> <p>つきましては、利根川水系河川整備計画に神明堀下流部への導水を位置づけていただき、早期に着手されますよう、要望いたします。</p>	<p>神明堀の水量・水質改善については「利根川水系江戸川中流部及び坂川水環境改善緊急行動計画」に位置づけられており、現在、沿川の関係自治体や地域住民とともに、連携し取り組んでいます。なお、利根川水系河川整備計画(たたき台)に「利根川水系江戸川中流部及び坂川水環境改善緊急行動計画」を反映するよう検討します。</p>
17	千葉県	3松戸市	<p>9 江戸川 川と水の情報・交流センターについて</p> <p>江戸川は、東京に隣接する都市部にありながら多くの自然や川の歴史・文化を備えています。近年では多くの人々がその魅力を求めて江戸川を訪れるようになりました。しかしながら、現在の江戸川中・下流部では江戸川の歴史や文化・環境などの情報を発信する場がありません。</p> <p>そこで本市では、総合計画に「広域交流活動推進プラン」を位置づけておりますことから、江戸川の中・下流部沿川において</p> <p>水の大切さ、川のしくみ・環境・歴史・文化を学び体感できる学習活動の拠点 川と水にかかわる取組みを統合し情報を交流・発信する拠点 川や水にかかわる人・組織が交流し新しい活動を創造する場 江戸川への訪問者のビジターセンター(川の駅など)</p> <p>などの役割を持った「江戸川 川と水の情報・交流センター(仮称)」などの施設について利根川水系整備計画に位置づけ、江戸川が市民にもっと身近なものに感じられるよう推進していただきたく、要望いたします。</p>	<p>生活の基盤や歴史、文化、風土を形成してきた利根川の恵みを活かしつつ、自然とのふれあい、釣りやスポーツなどの河川利用、環境学習の場などの整備、保全を図ります。</p> <p>具体的には、環境学習や自然体験の場となる「水辺の楽校」、歴史や文化を踏まえた地域の交流拠点となる「水辺プラザ」などの整備を推進します。</p> <p>河川の情報提供や学習活動が出来る場については、江戸川全体を理解いただきながら河川整備を行っていく上で、大変重要だと考えています。</p> <p>既存の管理施設や周辺の公共施設などの既存ストックを有効活用するなど、管理運営も含めて、利根川水系河川整備計画(たたき台)に反映するよう関係自治体と連携して検討していきます。</p>

利根川水系河川整備計画 地方公共団体の長からの意見聴取【千葉県】

通番	都・県	市区町村	意見及び質問	回答
18	千葉県	4野田市	野田市は、利根川と江戸川の分派に位置し、浸水想定区域図に示されるように決壊時には、関宿地域が完全に浸水するため、利根川の堤防強化及び危機管理体制の確立を図っていただきたい。	江戸川は、人口・資産の集積する首都圏を流れる重要な河川であり、堤防強化を含めた治水対策は非常に重要となっています。 野田市付近は、利根川、江戸川及び利根運河により周囲を囲まれた貯留型氾濫で堤防決壊時には壊滅的な被害が予想されることから、必要な対策について計画的に実施していきます。 実施にあたっては、江戸川堤防詳細点検結果、堤防背後地状況、堤防整備状況、上下流及び左右岸バランスなどに配慮し、計画的かつ効率的に推進していきます。 また、危機管理体制の確立については、日頃から江戸川、中川、綾瀬川流域地域防災力向上施策検討会等を通じて、災害時における河川状況の監視や防災情報の迅速・的確な提供・共有化を行っていきます。
19	千葉県	5成田市	利根川河川基本方針において利根川下流部の河川流量が増加し、台風等の豪雨で内水排除対策が懸念される。 具体的には、千葉県根木名川土地改良区より要望がある、派川根木名川の改修整備と尾羽川排水機場の増馬力について検討をお願いします。	流入する支川の排水対策については、浸水被害の状況、土地利用の状況及び支川の整備状況などを総合的に検討し、関係自治体と調整を図り、必要に応じて水門・樋門などの整備・改築及び排水機場の機能向上を検討します。 流入する支川の排水対策については、浸水被害の状況、土地利用の状況及び支川の整備状況などを総合的に検討し、関係自治体と調整を図り、必要に応じて水門・樋門などの整備・改築及び排水機場の機能向上を検討します。 尾羽根川排水機場については、既存設備の改修等を行ってきたところですが、千葉県の派川根木名川の改修計画と調整を図りつつ機能について検討を行います。
20	千葉県	6佐倉市	1 印旛沼周辺における低地部の治水対策として、近年の印旛沼は、沼底に土砂が堆積し水深が浅くなってきている状況から、流入河川の水位上昇が早く、周辺に浸水被害をもたらしているため、沼の水位を低下させる方策として、沼底の掘り下げ等、大雨時でも安心できる態勢づくりを期待する。	利根川水系河川整備方針では、印旛沼を調節池として活用し放水路機能を持たせることにより、花見川の現在の改修計画を大きく変えることなく、利根川から毎秒1,000m ³ の分派を図ることとされています。これにより利根川の放水路としての機能だけではなく、印旛沼周辺の内水被害の軽減が見込まれると考えています。 今後は、地元関係機関や地元の要望、自然環境や地域社会への影響等も踏まえ、計画の具体化に向けて検討を進めたいと考えています。
21	千葉県	6佐倉市	2 印旛沼は、農業用水、工業用水、飲料用水として利用されており、水量を確保するための水位管理が行われているため、流入河川の水位上昇に伴い、周辺に浸水被害を与えている状況である。また、大雨時には、印旛排水機場から利根川、大和田排水機場から東京湾へポンプ排水しているのが現状であるが、河川整備計画策定にあたっては、利根川本流から印旛沼を調節池として放流されるため、大和田排水機場等、関連機場の機能確保と適切な運用が望まれる。	河川整備計画における洪水分派量については、長門川の改修、西沼と北沼の疎通能力の向上、大和田排水機場の増強などを検討していますが、既存河道の有効活用や内水洪水の事前放流による調節池容量の確保などを考慮し、自然環境への影響に配慮すると共に地域社会への影響の低減、コスト縮減を検討しています。 印旛沼周辺の内水対策として流域の洪水時に印旛沼水位低下を図り、千葉県の流入支川計画と合わせ治水安全度1/30を目標として検討しています。 利根川からの洪水分派は印旛沼の水位(調節容量)を考慮して分派量を調節しますので印旛沼流域の安全は確保されます。

利根川水系河川整備計画 地方公共団体の長からの意見聴取【千葉県】

通番	都・県	市区町村	意見及び質問	回答
22	千葉県	6佐倉市	3 印旛沼の水質は、湖沼の飲料用水源として、全国ワースト1位という不名誉な記録を保持していることから、水質改善対策として、平常時でも湖水が流動するような方策を検討願いたい。	印旛沼の水質改善対策については洪水分派による影響低減対策を実施すると共に印旛沼水循環健全化計画と連携して長期的な水質改善対策、環境保全対策を検討する予定です。
23	千葉県	6佐倉市	4 印旛沼を治めた国営印旛沼開発事業から30年以上が経過した現在、施設の老朽化や都市排水・異常気象による降雨量の増大などから、適正な排水計画を構築するために、国営印旛沼 期事業計画との十分な調整をお願いしたい。	国営印旛沼 期事業などの印旛沼に係る他事業との整合については、関係機関と情報交換を行い、事業内容や実施時期などの調整を図っていきます。
24	千葉県	7柏市	国土創発調査「自然や歴史と調和した美しい地域空間実現方策」にて、地域資源の一体的な保全と管理・活用と展開方策について検討中である。 野田市が発案し、地域(野田, 流山, 柏, 吉川, 守谷)と国・県が連携し、本調査を実施している。 この内容を盛り込んでいただきたい。	平成18年度には国、県、利根運河周辺市町による国土施策創発調査において利根運河流域を対象に自然や歴史・文化等の地域資源を活かした自然や歴史と調和した美しい地域空間の実現方法の検討を行い、利根運河エコパーク構想が作成されました。 今後は、利根運河エコパーク構想実現に向けた利根運河協議会を設置し、関係自治体と連携し、人と川とのふれあいを高めるため、自然との調和を図りつつ、親しみやすい河川空間の整備と保全に努めた検討を行っていきます。 現在進められている利根運河協議会の検討状況などを踏まえ、利根川水系河川整備計画(たたき台)へ必要な対策を反映するよう検討します。
25	千葉県	8流山市	流山市の顔として、利根川水系江戸川や利根運河を位置付けているが、この利根川と市民が直接親しむ機会が少ないと思われることから、利根川水系河川整備計画にこの内容を取り組んでもらいたい。	平成18年度には国、県、利根運河周辺市町による国土施策創発調査において利根運河流域を対象に自然や歴史・文化等の地域資源を活かした自然や歴史と調和した美しい地域空間の実現方法の検討を行い、利根運河エコパーク構想が作成されました。 今後は、利根運河エコパーク構想実現に向けた利根運河協議会を設置し、関係自治体と連携し、人と川とのふれあいを高めるため、自然との調和を図りつつ、親しみやすい河川空間の整備と保全に努めた検討を行っていきます。 現在進められている利根運河協議会の検討状況などを踏まえ、利根川水系河川整備計画(たたき台)へ必要な対策を反映するよう検討します。
26	千葉県	8流山市	公共下水道の整備により利根運河の水量が不足し、河川環境が悪化していることから、環境用水の放流に伴う取り組みをお願いしたい。	利根運河の環境用水の放流については、利根運河協議会の場などにおいて関係機関と調整し、検討を行っていきます。

利根川水系河川整備計画 地方公共団体の長からの意見聴取【千葉県】

通番	都・県	市区町村	意見及び質問	回答
27	千葉県	9八千代市	1. 利根川下流部に係る計画のうち、高水時における印旛沼及び印旛放水路を新たな放水路として利用することについては、印旛沼の水深が浅く汚濁が進行しやすい特性や、印旛沼が飲料水をはじめ、重要な水源となっていることから、印旛沼及び印旛放水路の水質改善に充分配慮した整備を要望します。	利根川水系河川整備方針では、印旛沼を調節池として活用し放水路機能を持たせることにより、花見川の現在の改修計画を大きく変えることなく、利根川から毎秒1,000m ³ の分派を図ることとされています。これにより利根川の放水路としての機能だけではなく、印旛沼周辺の内水被害の軽減が見込まれると考えています。また、分派した洪水を印旛沼内に滞留させないことにより、植物プランクトンの増殖が抑制されるなどの水質改善の効果も期待されます。 今後は、地元関係機関や地元の要望、自然環境や地域社会への影響等も踏まえ、計画の具体化に向けて検討を進めたいと考えています。
28	千葉県	9八千代市	2. 利根川水系河川整備基本方針の計画高水流量図によると、印旛放水路への放流量が整備後は1,000m ³ /sで、現在の印旛沼、印旛放水路(新川・花見川)及び大和田排水機場の能力や周辺地域への影響も充分配慮した整備計画を要望いたします。 また、大和田排水機場下流側付近においては印旛放水路の計画水位が、現宅地盤高より高くなっておりますことから、河川整備計画時にはその対策について充分配慮して頂きますようお願いいたします。	河川整備計画における洪水分派量については、長門川の改修、西沼と北沼の疎通能力の向上、大和田排水機場の増強などを検討していますが、既存河道の有効活用や内水洪水の事前放流による調節池容量の確保などを考慮し、自然環境への影響に配慮すると共に地域社会への影響の低減、コスト縮減を検討しています。 印旛沼周辺の内水対策として流域の洪水時に印旛沼水位低下を図り、千葉県の流入支川計画と合わせ治水安全度1/30を目標として検討しています。 利根川からの洪水分派は印旛沼の水位(調節容量)を考慮して分派量を調節しますので印旛沼流域の安全は確保されます。
29	千葉県	10我孫子市	・ 大和根橋から新大和根橋までの堤防の天端を利用したサイクリングロードを整備し、本市で整備した我孫子市利根川サイクリングロードとの接続をお願いいたします。	堤防天端を利用したサイクリングロードについては、地域のニーズ及び自治体の地域計画などを踏まえ、関係自治体と調整します。
30	千葉県	10我孫子市	・ 利根川水系である手賀沼は、汚濁ワーストワンを27年間続け、平成13年度に手賀沼の汚濁ワーストワンを脱却し、平成17年度のCODの年平均値は、8.2mg/Lと改善傾向になっていますが、まだまだ環境基準の5mg/Lには程遠い状態です。 平成12年度に北千葉導水事業が運用を開始し、利根川の水を手賀沼に注水する浄化対策の効果が大きいことはあきらかです。しかし、夏場の渇水時期になりますと北千葉導水の注水が止まり、COD値が急激に上がる状況です。それ以外でも止まることがあり、注水ストップが長くなればアオコが発生し、生物への影響も懸念されます。 千葉県が策定している手賀沼湖沼水質保全計画の中にも北千葉導水事業の浄化対策が掲載されていることから、北千葉導水の注水を止めることがないようお願いいたします。	北千葉導水路における利根川から手賀沼への導水は、利根川下流部の河川環境及び水利用に影響を及ぼさない範囲で行うこととしています。そのため、渇水で利根川の流量に余剰がない場合や、洪水時に手賀川から利根川へ内水排除のための運転を行う必要がある場合には、手賀沼への導水は停止します。 手賀沼への浄化用水導水については、利根川、手賀沼の水質、流況等を勘案した運用を行う必要があり、今後も、適切かつ効率的な運用を図っていきます。
31	千葉県	10我孫子市	・ 栄橋を挟んで上流部と下流部で途切れている「千葉県我孫子佐原自転車道」と「我孫子市利根川サイクリングロード」を接続すべく、利根川右岸、布川狭窄部の河川敷に管理用道路の整備をお願いいたします。	サイクリングロードの接続については、栄橋上下流の地形状況などとともに地域のニーズ及び自治体の地域計画などを踏まえ、関係自治体と調整します。

利根川水系河川整備計画 地方公共団体の長からの意見聴取【千葉県】

通番	都・県	市区町村	意見及び質問	回答
32	千葉県	10我孫子市	【1】田中調節池について (1) 越流堤移設計画を含む田中調節池懇談会での意見について十分考慮し河川整備計画策定をお願いします。	鬼怒川合流点下流の利根川右岸側にある田中調節池は、周辺にある稲戸井調節池及び菅生調節池と一体となって洪水を調節することにより、利根川の下流部における治水安全度の向上を図る施設です。 この田中調節池では、治水容量が不足しているため、越流堤を上流へ移設することによって調節池内への流入水位を高くし、洪水調節容量を増加させることを検討しています。 越流堤の上流移設にあたっては、池内の利用状況等に配慮し、関係機関との調整を図り、調節池内の利用者等の意見を聴きながら検討を進めます。
33	千葉県	10我孫子市	(2) 当該地が洪水防御施設であることの認識が薄れていることから、国交省としてその必要性について積極的にPRをお願いします。	HPなどで調節池の果たす役割などを紹介していますが、今後、広報については、(国民の目線に立ち)効果と費用について考えながら、その充実に努めていきたいと思えます。
34	千葉県	10我孫子市	(3) 越水時の進入規制等を促す措置として、多数ある市街地から調節池内への進入道路入り口の周囲堤部に規制看板や水位量水標等を適宜設置し、平時から出水時の危険性について周知をお願いします。	越水時の車などの進入は大変危険であるので、今後更に進入規制などを促す効果的な方法の検討を行い、実施していきます。
35	千葉県	10我孫子市	(4) 洪水の調節池内流入が危惧される場合は、関係機関相互の災害情報の共有化や実際の現場対応(池内への立入禁止、退避、道路通行止措置)が不可欠であり、緊急的かつ地域が連携した洪水調節池流入に限定した水防体制(国交省、改良区、我孫子市、柏市、茨城県側水防団体、河川敷占用者)を確立することが必要ではないかと思慮されますので調整をお願いします。	水防警報指定河川においては、洪水又は高潮によって災害が発生する恐れがあるとき、水防警報を発令し、その警報事項を関係都県に通知します。 また、河川における洪水に対する危険箇所情報(重要水防箇所など)は、出水期前に行っている関係自治体などの水防担当者との水防連絡会や重要水防箇所などの現地を確認する合同巡視などにより情報共有を図っています。 さらに、堤防破堤などの危機的な状況が発生する恐れがある場合には、河川管理者である国土交通省の利根川上流河川事務所長から直接地方自治体の首長に危険情報を伝達するホットライン機能を確保しています。
36	千葉県	10我孫子市	(5) 経年の洪水流入実績・時間・貯留量等に基づき、流入等予測解析を行い下記事項など水防活動の目安となる数値を算出し、ご教示願います。 どの地点でどの程度の水位だと越水する恐れがあるか？ 何時間後に越水する恐れがあるか？ 流入面積・貯留深はどの程度が予想されるか？ 調節池内貯留水がどの程度(時間)で引けるか？	田中調節池については、出水時における河川状況の監視を行い、情報の迅速・的確な提供、共有化を図ります。 また、調節池内に関する解析などについては、洪水予測精度の向上などと合わせて検討を進めていきます。
37	千葉県	10我孫子市	(6) 越流堤移設による貯留容量(治水容量)増加に伴う貯留時にどのような環境(自然、地区住民の生活、利用者等)変化が生じるのか分析してご教示願います。	越流堤の上流移設することにより治水容量を増やすことにはなりますが、溜水範囲は変わらないため大きな環境の変化は生じないと考えています。
38	千葉県	10我孫子市	【2】後田樋管について (1) 常襲的な浸水被害発生地域である我孫子市柴崎字後田地区の被害を解消するため、最も効果を発揮する「樋管改修」を堤防(周囲堤)の改修にあわせて、国の事業として早期に実現していただけるようお願いします。	田中調節池の越流堤移設による容量増強に伴い、周囲堤の改修が必要となることから、周囲堤に設置している河川管理施設については、浸水被害の状況、土地利用の状況及び支川の整備状況などを総合的に検討し、関係自治体と調整を図り、必要に応じて水門・樋門などの整備・改築及び排水機場の機能向上を実施します。

利根川水系河川整備計画 地方公共団体の長からの意見聴取【千葉県】

通番	都・県	市区町村	意見及び質問	回答
39	千葉県	10我孫子市	<p>【3】堤防断面の補強について</p> <p>(1) 本市、利根川上流河川事務所管内で堤防の断面不足が生じている箇所については、補強等改修の早期実施をお願いします。</p>	<p>これまでの堤防整備は、堤防がない区間での築堤、幅や高さが不足している区間での拡幅や嵩上げを優先的に実施してきました。また、堤防は原則として、土でつくられ、過去幾度にもわたって築造・補修され現在に至っているという歴史的経緯を有し、その時々で現地において近傍の土を使用して築造するため構成する材料の品質が不均一であるという性格も有しています。そのため、平成14年度から浸透に対する安全性の調査を実施してきました。</p> <p>今後は、堤防の点検結果を踏まえ、堤防の安全性が不足している箇所については、積極的に堤防強化を進め、必要に応じた対策を順次実施します。また、質的強化の実施までの間、効果的な水防活動の推進を図るため、堤防詳細点検結果を水防管理団体などと共有化を図ります。</p>
40	千葉県	10我孫子市	<p>【4】水位観測地点について</p> <p>(1) 田中調節池の流入や取手水位の増加予測には、現在上流部の「栗橋」「芽吹橋」の水位観測値から予測していますが、本川上流部域からの流下量だけでなく、支川である鬼怒川流域からの流下量も関係することから、利根川本川の鬼怒川合流地点に水位観測所を設置すべく検討をお願いします。</p>	<p>利根川本川の鬼怒川合流点より下流については、高野水位観測所があり水位観測を行っていますので水位観測所の増設は考えていませんが、利根川中流域付近の洪水予測については、上流域全体の洪水予測を使用しています。今後、上流域全体の水利特性を把握し精度良い再現手法について検討を進めていきます。</p>
41	千葉県	10我孫子市	<p>【5】手賀沼・手賀川流域における内水被害軽減に向けた水位低下について</p> <p>(1) 本市若松・布佐地区は、短時間に降る雷雨でさえ手賀沼の水位上昇により自然流下せず、常襲的な出水被害が発生しています。</p> <p>特に灌漑期(4月から8月)は、手賀沼水位が高水位に設定されていることから、短時間降雨で一瞬のうちに水位上昇し、自然流下が阻害され内水排除が不可能となってしまいます。</p> <p>本市においても浸水被害軽減策として内水排除ポンプ施設を整備しておりますが、強制排水能力は時間20mm程度の降雨にしか対応できていません。</p> <p>このようなことから、浸水が起きている地区住民は手賀沼・手賀川の水位が上昇すると浸水を引き起こすと理解しており、北千葉揚排水機場の排水により手賀沼・手賀川の水位低下できるとのことで、「降雨時の水位低下に向けた早期稼働」の要請書が毎年市に寄せられています。</p> <p>現在、国交省管理運用の「北千葉揚排水機場」の稼働が出水被害軽減に非常に効果を発揮しており、細心のご努力を図られた水位低下措置を講じられておりますが、近年の計画降水量以上のゲリラ的な集中豪雨発生状況を踏まえ、被害の最小化を図る「減災」の観点からも豪雨が予想される場合、より一層の被害軽減強化に向けた「早急かつ事前の水位低下措置」としての施設運用をお願いいたします。</p>	<p>北千葉揚排水機場の排水運転は、利根川及び手賀川の洪水時に、利根川の洪水の手賀川への逆流を防止すること及び手賀川流域の洪水被害を軽減することを目的として、「北千葉導水施設操作規則」に則り行われています。</p> <p>具体的には、手賀川の水位がY.P.+2.00m以上であり、さらに上昇する恐れがある場合において、利根川から手賀川への逆流が始まるまでの間は自然流下させ、逆流が始まった時点で排水ポンプを運転することとしています。</p>

利根川水系河川整備計画 地方公共団体の長からの意見聴取【千葉県】

通番	都・県	市区町村	意見及び質問	回答
42	千葉県	10我孫子市	<p>【6】布川狭窄部(我孫子市布佐地先栄橋付近)について</p> <p>(1) 当該地の河川断面構造が非常に狭窄である根本的な理由をご教示下さい。</p> <p>(2) 河床掘削など流下能力確保対策実施時は、地元にも周知願います。</p> <p>(3) 現在、起きている「せき上げ」現象について詳細をご教示下さい。</p> <p>(4) 「せき上げ」現象発生による危険性が思慮される場合、洪水時の堤防巡視等パトロールの強化をお願いします。</p>	<p>1 布川付近の利根川東遷事業が完成するのは、寛永六年(1629)から七年(1630)にかけてです。まず、寛永六年に鬼怒川と小貝川を分流、現在の守谷市板戸井の大地を掘り割って鬼怒川を通し、これを新たに東遷されることになった利根川に合流させました。その翌年、寛永七年(1630)には、鬼怒川との分流によって、独立流になった小貝川を南流させ、戸田井、羽根野間を掘割った水路に導き、これを利根川に合流させました。同時に布佐、布川間を掘り割って、利根川の狭窄部分を造成した経緯があります。</p> <p>2 流下能力の確保に加え、長期的な河床安定や河岸浸食に対する安全性についてモニタリングを行うとともに狭窄部の水理特性の解析を行い、工法を検討していきます。</p> <p>なお、流下能力確保対策実施時は、関係機関などへの周知を行います。</p> <p>3、4 河川整備計画の目標流量を安全に流下させることの出来ない区間においては、河道の流下能力向上対策として、上流水位の上昇などを考慮し検討を行い、河道掘削などを順次実施します。</p> <p>また、洪水等が発生した場合は、河川巡視を行い、河川管理施設などの被害の早期発見に努めます。</p>
43	千葉県	10我孫子市	<p>・ 我孫子市では、利根川の自然環境に配慮した、自然とふれあい楽しむことのできる利根川ゆうゆう公園等の整備を、平成14年1月31日に国土交通省の水辺プラザに登録し、国の河川整備と連携を図りながら進めています。平成18年度のサッカー場の整備で、河川敷部分の施設整備は完了します。</p> <p>また、利根川をはさんだ茨城県取手市とは、スポーツ施設などの相互利用を行っており、小堀の渡しも利用してのサイクリングコースの設定など広域的なネットワークづくりに向けての話し合いも行っています。</p> <p>今後ますます、市民の利根川への関心が高くなることや公園利用などが多くなると思われます。</p> <p>このようなことから、将来を見据えた水上交通などのネットワークに対しての施設計画(利根川ゆうゆう公園ファミリーリエーションゾーン水上ステージ付近の棧橋の設置など)や利根川ゆうゆう公園などの利用増大に対処するための施設計画(利根川ゆうゆう公園への進入路の拡幅など)を計画に組み入れていただけますよう要望いたします。</p>	<p>地域住民や関係自治体と連携しながら、関係自治体が進める舟運整備を支援するとともに、川を利用した地域のつながりを再構築し活性化を図るため、利根川と周辺湖沼、水路などを結ぶ水上のネットワークの構築や関連する拠点整備のあり方についても、地域住民や関係自治体と連携して取り組みます。</p>

利根川水系河川整備計画 地方公共団体の長からの意見聴取【千葉県】

通番	都・県	市区町村	意見及び質問	回答
44	千葉県	10我孫子市	・ 利根川水系河川整備計画策定に際しては、史跡、文化財にも十分な配慮をお願いします。	利根川及び江戸川の代表的な河川景観を得ることができる史跡・名勝・天然記念物などについては、良好な河川景観の保全・形成を図るうえで大変重要であると考えていますので、地域の自然・歴史・文化・生活なども踏まえて配慮した河川整備を実施します。
45	千葉県	11印西市	1. 印旛沼の水質浄化や流域環境の改善に向け、国、県、流域市町村、流域住民が連携し、様々な取り組みがされているところであるが、今後においても更なるご尽力をいただきたい。	利根川水系河川整備方針では、印旛沼を調節池として活用し放水路機能を持たせることにより、花見川の現在の改修計画を大きく変えることなく、利根川から毎秒1,000m ³ の分派を図ることとされています。これにより利根川の放水路としての機能だけではなく、印旛沼周辺の内水被害の軽減が見込まれると考えています。また、分派した洪水を印旛沼内に滞留させないことにより、植物プランクトンの増殖が抑制されるなどの水質改善の効果も期待されます。 今後は、地元関係機関や地元の要望、自然環境や地域社会への影響等も踏まえ、計画の具体化に向けて検討を進めたいと考えています。
46	千葉県	11印西市	2. 利根川の重要水防箇所における危険解消に向け、更なる対策を進めていただきたい。	これまでの堤防整備は、堤防がない区間での築堤、幅や高さが不足している区間での拡幅や嵩上げを優先的に実施してきました。また、堤防は原則として、土でつくられ、過去幾度にもわたって築造・補修され現在に至っているという歴史的経緯を有し、その時々で現地において近傍の土を使用して築造するため構成する材料の品質が不均一であるという性格も有しています。そのため、平成14年度から浸透に対する安全性の調査を実施してきました。 今後は、堤防の点検結果を踏まえ、堤防の安全性が不足している箇所については、優先順位をつけて積極的に堤防強化を進め、必要に応じた対策を順次実施します。また、質的強化の実施までの間、効果的な水防活動の推進を図るため、堤防詳細点検結果を水防管理団体等と共有化を図ります。
47	千葉県	12香取市	当市では、地域資源を活用したまちづくりの中で、江戸時代から昭和初期にかけて利根川の舟運で栄えた水郷商都佐原・小見川の水辺空間を活用したまちづくりに取り組んできました。佐原においては、利根川支流の小野川沿いの重要伝統的建造物群保存地区を中心とする景観形成により、ちばデスティネーションキャンペーンと併せ多くの来訪者を集客しております。また、小見川についても黒部川を活用し、水上スポーツの都市として全国的なボートやレガッタの大会を開催し、その会場にふさわしい施設になるようくろべ運動公園の整備に努めてまいりました。今後さらに利根川を活用し水郷都市の集客を高める地域活力の資源として、河川や水辺空間とふれあえる佐原交流拠点、香取市全体の地域力を高める拠点、また防災センターを兼ね備え防災力の強化、スーパー堤防と併せ水害に強い水郷都市となるよう、先進的に取り組ましますので、皆様方の御指唆をお願いします。 また、黒部川の排水能力の増強や魚道整備など自然環境保全に配慮した河川整備に期待します。より多くのサケが遡上できるような美しい川作りを進めてくださるようお願いいたします。	地域住民や関係自治体と連携しながら、関係自治体が進める舟運整備を支援するとともに、川を利用した地域のつながりを再構築し活性化を図るため、利根川と周辺湖沼、水路等を結ぶ水上のネットワークの構築や関連する拠点整備のあり方についても検討し、自治体の計画及びニーズを踏まえ、必要に応じ、関係自治体と連携します。 なお、香取市の本宿耕地地区は、香取市の都市再生を図るため、歴史的地物、観光資源を活かした広域交流拠点として位置づけられており、国土交通省は、高規格堤防整備と高水敷の環境整備により、千葉県・香取市のまちづくりと一体となって地域再生・都市再生の促進に寄与しています。また、佐原広域交流拠点整備事業の一部にPFI手法を導入します。この「PFI(Private Finance Initiative: プライベート・ファイナンス・イニシアティブ)」とは、公共施設等の建設、維持管理、運営などを民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用して行う新しい手法です。民間の資金、経営能力、技術的能力を活用することにより、国や地方公共団体等が直接実施するよりも効率的かつ効果的に公共サービスを提供できる事業についてPFI手法で実施します。 なお、千葉県の黒部川水環境改善緊急行動計画などと調整を図り水質浄化について支援していきます。

利根川水系河川整備計画 地方公共団体の長からの意見聴取【千葉県】

通番	都・県	市区町村	意見及び質問	回答
48	千葉県	13酒々井町	<p>酒々井町の中心市街地を流れる中川はその源を酒々井町上郷地先の字山田附近に源を発し、途中酒々井町の市街地部を貫流し、JR成田線、国道51号並びに京成本線を横断して印旛沼の内水河川である中央干拓低地排水路に合流する流域面積3.6km²の普通河川である。</p> <p>酒々井町は、首都圏へのアクセスが良好であることからベッタウン化が進行し、現在県内第3位の人口増加率となっている。</p> <p>上流部の住宅開発は昭和40年代後半に行われ、住宅開発指導要綱等が定められていない時期の造成である。従って調節池等が設置されていないため、これまで有していた貯溜機能が低下し、降雨時には一気に雨水が流出し、京成本線橋梁上流の中川及び上岩橋地先で過去に幾度と水害が発生している。</p> <p>平成16年9月には、時間雨量77mm、連続降雨量186mmの大雨により床上浸水18戸、床下浸水40戸、国道370m、町道730m、田畑42haの浸水被害が発生し、JR成田線は酒々井駅で車両浸水により一時不通となるなど、交通は各所で分断され都市機能が麻痺し、地域に大きな影響を与えた。</p> <p>酒々井町では、中川流域防災事業として、まちづくり交付金事業に採択されるよう国土交通省都市・地域整備局と協議を重ねたところ平成18年11月に事業採択された。</p> <p>しかしながら中川が流入する中央干拓低地排水路は、印旛沼と接続されておらず、印旛沼へポンプを利用した排水となっており、中川の流下能力に悪影響を及ぼしている。</p> <p>以上のことから、酒々井町及び周辺地域の浸水被害を解消出来るよう、利根川水系河川整備計画の中の新放水路事業計画に治水対策を考慮した計画を盛り込むようお願いいたします。</p> <p>また、新たな酒々井町まちづくりの拠点として印旛沼を活用したいので、町としても流域の水循環系の再生に取り組んでおりますところから、国県においても更に水質の改善、水量の回復及び生態系の保全などにも考慮した計画を盛り込むよう併せてお願いいたします。</p>	<p>利根川水系河川整備方針では、印旛沼を調節池として活用し放水路機能を持たせることにより、花見川の現在の改修計画を大きく変えることなく、利根川から毎秒1,000m³の分派を図ることとされています。これにより利根川の放水路としての機能だけでなく、印旛沼周辺の内水被害の軽減が見込まれると考えています。また、分派した洪水を印旛沼内に滞留させないことにより、植物プランクトンの増殖が抑制されるなどの水質改善の効果も期待されます。</p> <p>今後は、地元関係機関や地元の要望、自然環境や地域社会への影響等も踏まえ、計画の具体化に向けて検討を進めたいと考えています。</p> <p>印旛沼周辺の内水対策としては、流域の洪水時に印旛沼水位低下を図り、千葉県の鹿島川等の流入支川整備計画と合わせ流域の治水安全度を向上させることを検討しています。</p> <p>利根川からの洪水分派は印旛沼の水位(調節容量)を考慮して分派量を調節しますので印旛沼流域の安全は確保されます。</p> <p>また、印旛沼の水質改善対策については洪水分派による影響低減対策を実施すると共に印旛沼水環境健全化計画と連携して長期的な水質改善対策、環境保全対策を実施する予定です。</p> <p>整備にあたっては出来る限り既存の施設機能を活用する事で自然環境への影響に配慮すると共に地域社会への影響の低減、コスト縮減を検討します。</p> <p>利根川放水路計画では印旛沼の内水被害を考慮することとしており、中川流域の被害低減の可能性について具体的な施設計画の中で検討することとしています。</p>
49	千葉県	14印旛村	<p>印旛沼への放水に伴う影響</p> <p>現在、沼及び流入する河川や水路周辺の低地域においては、大雨時の浸水対策に苦慮している状況である。このことから、当河川整備基本方針に示されている、利根川高水時の印旛沼への放水計画にあたっては、周辺への影響を考慮した整備計画の策定を望みます。特に沼の排水能力の改善(大和田排水機場整備・花見川河川整備)を図られた上での計画としていただきたい。</p>	<p>利根川水系河川整備方針では、印旛沼を調節池として活用し放水路機能を持たせることにより、花見川の現在の改修計画を大きく変えることなく、利根川から毎秒1,000m³の分派を図ることとされています。これにより利根川の放水路としての機能だけでなく、印旛沼周辺の内水被害の軽減が見込まれると考えています。また、分派した洪水を印旛沼内に滞留させないことにより、植物プランクトンの増殖が抑制されるなどの水質改善の効果も期待されます。</p> <p>今後は、地元関係機関や地元の要望、自然環境や地域社会への影響等も踏まえ、計画の具体化に向けて検討を進めたいと考えています。</p> <p>印旛沼周辺の内水対策としては、流域の洪水時に印旛沼水位低下を図り、千葉県の鹿島川等の流入支川整備計画と合わせ流域の治水安全度を向上させることを検討しています。</p> <p>利根川からの洪水分派は印旛沼の水位(調節容量)を考慮して分派量を調節しますので印旛沼流域の安全は確保されます。</p> <p>また、印旛沼の水質改善対策については洪水分派による影響低減対策を実施すると共に印旛沼水環境健全化計画と連携して長期的な水質改善対策、環境保全対策を実施する予定です。</p> <p>整備にあたっては出来る限り既存の施設機能を活用する事で自然環境への影響に配慮すると共に地域社会への影響の低減、コスト縮減を検討します。</p>

利根川水系河川整備計画 地方公共団体の長からの意見聴取【千葉県】

通番	都・県	市区町村	意見及び質問	回答
50	千葉県	14印旛村	印旛沼に係る他事業との整合 水資源機構により実施中の印旛沼開発施設緊急改築事業及び農林水産省により計画されている国営かんがい排水事業「印旛沼二期地区」との連携を密にとっていただき、経費の削減・事業に手戻りが生じないよう整合を図っていただきたい。	水資源機構や農林水産省などの印旛沼に係る他事業との整合については、関係機関と情報交換を行い、事業内容や実施時期などの調整を図っていきます。
51	千葉県	15栄町	川づくりに期待することは「ハリケーン・カトリーナ」等の事前投資による被害軽減効果で実証されているとおり、異常気象等による集中豪雨・台風等の災害対策が後追いにならないように、高規格堤防事業等による治水・利水事業を早期に実施することにより、住民が安全・安心な生活ができる河川環境づくりと併せて、河川より生命の源である飲料水を水源として取水しているため、水の流れが変わることにより水質悪化を招く恐れもあることから、根本的な水質の浄化等の水質改善対策に取り組んでいただきたいと思っております。 また、普段はふれあいの場の公園として、洪水時には水防活動基地として、地域社会に大きな役割を果たす河川防災ステーションが、一般住民・教育関係者の利用頻度が少ない現状であります。原因としては、人々が集まる水辺と親しめる空間が不足しているためであり、施設の機能に多様性をもたせ、周辺に休憩施設を設けるなど魅力ある空間とする必要があり、隣接する堤外地には、自然環境を維持しつつ「水辺の散策路」や「緊急用河川敷道路」「リバーステーション」等の施設整備をして、災害時は、河川を活用した災害物資等の搬入や各リバーステーションとの連携による復旧ネットワークづくりを進めるとともに、普段は、大人も子供たちも、川から堤防などを観察する自然体験学習ができるような人々が「水に近づく」水辺の環境づくりを期待するものです。	河川整備にあたっては、流下能力が不足している状況にあることから、下流部の流下能力に見合った上流部の改修や支川改修による本川への負荷増大が生じないように配慮するとともに、全川にわたり効果が発現する上流洪水調節施設も含め、バランスを考慮した整備に努めます。 また、印旛沼の水質改善対策については、洪水分派による影響低減対策を実施するとともに、印旛沼水環境健全化計画と連携して長期的な水質改善対策、環境保全対策を検討する予定です。 地域住民や関係自治体と連携しながら、関係自治体が進める舟運整備を支援するとともに、川を利用した地域のつながりを再構築し活性化を図るため、利根川と周辺湖沼、水路等を結ぶ水上のネットワークの構築や関連する拠点整備のあり方についても検討します。
52	千葉県	16神崎町	あらゆる世代が、川と親しみ、水辺に学べる環境づくりへの取り組み (具体的な整備計画の内容) 河川敷に、昔の舟運を思い起すことのできる船着場や、若い世代も興味のあるプレジャーボート・バスボード等のボートスロープの整備。 このことは、災害時道路が寸断された際の物資輸送・被災者の救援に効果があると思っております。	生活の基盤や歴史、文化、風土を形成してきた利根川の恵みを活かしつつ、自然とのふれあい、釣りやスポーツなどの河川利用、環境学習の場などの整備、保全を図ります。 また、地域住民や関係自治体と連携しながら、災害時の活用を考慮した、関係自治体が進める舟運の整備を支援するとともに、川を利用した地域のつながりを再構築し活性化を図るため、利根川と周辺湖沼、水路などを結ぶ水上のネットワークの構築や関連する拠点整備のあり方についても、地域住民や関係自治体と連携して取り組めます。
53	千葉県	16神崎町	地盤の弱い当松崎地先の防災対策として、堤防強化のためのスーパー堤防事業への取り組みを期待します。 副次的要素として、地理的条件を踏まえた、地場産業の振興に役立つものと期待でき一層の利根川への関心が高まるものと判断します。	高規格堤防(スーパー堤防)は、堤防が万が一決壊した場合、非常に甚大な被害が予想される区間を対象としており、利根川水系においては、利根川(小山川合流点から利根川河口まで)と江戸川(利根川分派から江戸川河口まで)を対象としています。 堤防を越えるような洪水が来ても堤防が決壊しないような構造とし、後背地を広くならかな構造とする特徴があります。また、浸透してもこわれぬ、地震に対して強い特徴があります。 これらの高規格堤防整備は、まちづくりなどの整備と連携して実施します。まちづくりには、複数の関係者との調整が必要なため河川管理者としては、一体的な整備が図れるように沿川自治体などと積極的に調整を行います。

利根川水系河川整備計画 地方公共団体の長からの意見聴取【千葉県】

通番	都・県	市区町村	意見及び質問	回答
54	千葉県	17東庄町	<p>河川整備にあたっては、治水・利水・親水(水環境)の3つの分野をバランス良く行うことが重要と考えます。利根川水系河川整備計画策定に当たり、次のことについて意見を述べさせていただきたいと思ひます。</p> <p>治水面では、河川災害から地域住民を守ることが最重要課題であり、まち・耕地を守ることを考えます。</p> <p>今回の整備計画の中で下流部では河道掘削による流水断面の確保を予定されているとのことであり治水整備が更に進むことになり積極的に協力してまいりたいと思ひます。</p> <p>また、日頃から地域防災計画・洪水ハザードマップを整備し、地元住民等と連携を密にしながら出水時の対応が十分できるよう努めたいと考えます。</p> <p>利水面では、水が必要なときに必要な水量が確保出来、水の有効利用が出来ることが重要だと考えます。</p> <p>本町を流れる利根川支流の黒部川(1級河川)は銚子市の上水取水口を始め本町を含む2市1町(銚子市、旭市、東庄町)による東総広域水道企業団を組織し約16万人の生活用水を供給、また農業用水としては周辺の耕地への用水はもとより、大利根用水事業2市2町(旭市、匝瑳市、横芝光町、東庄町・約9200ha)や東総用水事業2市1町(銚子市、旭市、東庄町・約1200ha)の農地に農業用水を供給しています。</p> <p>このようなことから塩害を避けるため旧小見川町一之分目揚水機場から取水し、小堀川をへて黒部川に注いでいます。しかし、近年黒部川は用水の確保等から湖水化(ダム化)し下流部では流水がない状態で水質悪化が課題となっており、利水面からも良質な水環境の整備を早急に望むものであります。</p>	<p>河川整備にあたっては、流下能力が不足している状況にあることから、下流部の流下能力に見合った上流部の改修や支川改修による本川への負荷増大が生じないように配慮するとともに、全川にわたり効果が発現する上流洪水調節施設も含め、バランスを考慮した整備に努めます。洪水ハザードマップなどが早期に作成・公表されるよう、関係機関との連携をして進めていきます。</p> <p>また、千葉県の黒部川水環境改善緊急行動計画などと調整を図り水質浄化について支援していきます。平成19年度から冬期の浄化導水を試験的に行っており、今後とも効果の検証等を千葉県等関係機関と連携して進める予定です。</p>
55	千葉県	17東庄町	<p>また、親水面では「利根川コジュリンこうえん」を整備していただき、野鳥観察舎や遊歩道を設置されましたが、まだ十分に利根川の魅力を活かしているとは言えない状況にあり、更なる整備が必要と考えます。本地域でもハゼ・コイ・フナ釣りなど町内外から多くの愛釣家が訪れますが、護岸等に工夫がなく、治水本来の設計となっており観光等に訪れた人々を含め階段状の堤体や護岸が出来れば単に川に下りるのではなく腰をおろしての休憩場所ともなり親しみのある河川となるのではと考えます。「川は危険だ!!」ではなく「どのようにすれば親しめるか」を考え提案していくべきではないでしょうか。</p> <p>今後も川に対する施策を更に進め、住民がより川を身近にふれあうことが出来るようにしたいと思ひますのでより施設の充実をお願いいたします。</p>	<p>生活の基盤や歴史、文化、風土を形成してきた利根川の恵みを活かしつつ、自然とのふれあい、釣りやスポーツなどの河川利用、環境学習の場などの整備、保全を図ります。</p> <p>また、高齢者をはじめとして誰もが安心して親しめるようユニバーサルデザインに配慮するとともに、沿川の自治体が立案する地域計画などとの連携・調整を図り、河川利用に関する多様なニーズを十分反映した河川整備を推進します。</p>